

研究開発プラットフォーム届出書

「知」の集積と活用の場合産学官連携協議会事務局 御中

「水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム」
プロデューサー人材（総括） 五條堀 孝



研究開発プラットフォームを設立したので、「知」の集積と活用の場合産学官連携協議会組織規則第8条の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1 研究開発プラットフォームの目的

本プラットフォームは、収益性及び信頼性及び国際性の高い産業の創出をめざし、安全・安心、高品質な水産物を環境に配慮しつつ低コストで生産する新規増養殖システムや新たなビジネスモデルを構築する。このため、産官学の連携による活動と異分野融合を通じて、必要な研究開発・市場開発を推進することを目的として水産業が抱える課題解決と新規事業の創出を目標に行動する。

2 研究開発プラットフォームの名称

「水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム」

3 研究開発プラットフォームのプロデューサー

プロデューサーチーム代表 五條堀 孝

4 主たる事務所の所在地

国立研究開発法人水産研究・教育機構
神奈川県横浜市みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 15階

5 設立時の会員の名称又は氏名及び住所

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構
住所 〒220-6115 神奈川県横浜市みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 15階
- (2) マルハニチロ株式会社
住所 〒300-4295 茨城県つくば市和台16-2
- (3) 株式会社キッツ
住所 〒261-8577 千葉県千葉市美浜区中瀬1-10-1
- (4) JXエネルギー株式会社
住所 〒100-8162 東京都千代田区大手町1-1-2
- (5) 愛媛大学
住所 〒790-8577 愛媛県松山市道後桶又10-13
- (6) 東京海洋大学
住所 〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
- (7) 株式会社三菱総合研究所
住所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

このほか全国の企業、関連法人等が参加の予定

- 6 プラットフォーム管理運営機関及び担当者
国立研究開発法人 水産研究・教育機構
神奈川県横浜市みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 15階
(担当者)木村 量
TEL: 045-227-2690
FAX: 045-227-2704
e-mail:rkim@affrc. go. jp

7 主な事業内容

- (1) 省エネ型陸上養殖施設やロボティクスによる新規増養殖システムの開発
- (2) 新規増養殖システムに適した魚種選定、生産及び改良等の高付加価値をつけた商品開発
- (3) 新規増養殖システムに適した餌料開発
- (4) 分子生物学的手法を用いた飼育指標の開発
- (5) ICT等の高度情報技術を活用した新規増養殖システムの開発
- (6) 新規増養殖システムの普及に向けた国際ビジネスプランの策定
- (7) 科学技術に裏付けされた日本版 HACCP等認証制度の確立
- (8) 研究成果等の情報発信及び新たなプラットフォーム会員の勧誘
- (9) その他「知」の集積と活用場 産学官連携協議会の活動協力

8 活動予定期間

平成28年7月～平成33年3月

9 組織等

- (1) 研究開発プラットフォーム会則
・別添のとおり。
- (2) プロデューサーチームの構成及び役割(構成員の略歴等は様式第1号別添のとおり)
 - ①総括プロデューサー 五條堀 孝
・事業総括・マネジメント、予算調達の責任者
 - ②プロデューサー 宮原 正典(水研機構)
・事業総括・マネジメント、予算調達
 - ③プロデューサー 伊藤 文成(水研機構)
・事業総括・マネジメント、予算調達
 - ④コーディネーター 山内 皓平(愛媛大学)
・水産増養殖・新養殖魚の商品化・事業化をめざした産学官連携コーディネート
 - ⑤コーディネーター 小林 敬典(水研機構)
・ゲノム情報を利用した増養殖研究開発の産学官連携コーディネート
 - ⑥コーディネーター 浜野 かおる(水研機構)
・水産増養殖分野を中心とした産学官連携コーディネート
 - ⑦コーディネーター 村上 恵祐(水研機構)
・水産増養殖分野を中心とした産学官連携コーディネート
 - ⑧コーディネーター 峯田 克彦
・医学、創薬等の研究機関、企業との異分野連携のコーディネート
 - ⑨コーディネーター 長濱 嘉孝
・研究戦略担当(分子生物学を活用した種苗開発等)
 - ⑩コーディネーター 坂井 貴行
・事業化戦略担当
 - ⑪コーディネーター 木附 誠一
・産学官のオープンイノベーション、事業化及びグローバル戦略のコーディネート
 - ⑫コーディネーター 土居 修身
・知財戦略・事業化戦略担当

10 研究開発プラットフォーム設立の経緯

【養殖技術】

平成24年11月22日

- ・第1回クロマグロ養殖技術研究会を開催
平成25年2月13日～14日
- ・第2回クロマグロ養殖技術研究会を開催
平成26年12月8日～9日
- ・第3回クロマグロ養殖技術研究会を開催
平成27年1月23日
- ・平成26年度ブリ類養殖技術研究会を開催
平成27年12月10日～11日
- ・第4回クロマグロ養殖技術研究会を開催
平成28年1月26日
- ・平成27年度ブリ類養殖技術研究会を開催
平成28年2月10日
- ・「知」の集積と活用の中産学官連携協議会（準備会）セミナー「次世代水産増養殖業の創出」にて、「水産養殖における餌の課題、代替タンパク研究を中心に」の演題を講演
平成28年5月26日
- ・「知」の集積と活用の中産学官連携協議会のポスターセッションにて、「陸上養殖の産業化に向けた閉鎖循環システム開発とその展開」及び「有害赤潮・貝毒予測に係るメタゲノム解析の応用」のポスター発表
平成28年7月7日
- ・ブリ類養殖振興勉強会を開催予定。

【養殖・育種関連研究】

- 平成22年12月8日、9日
- ・International Symposium Marine Genomics を遺伝学研究所、沖縄科学技術大学院大学と共催
平成26年11月23日、24日
- ・国際水研メタゲノムシンポジウム「水圏メタゲノミクスの展開と水圏生物多様性研究の展望」を開催
平成28年2月1日
- ・国際誌 GENE 特別号「Marine Genomics」を刊行
平成28年2月10日
- ・「知」の集積と活用の中産学官連携協議会（準備会）セミナー「次世代水産増養殖業の創出」にて、「水産における育種研究の現状と課題」の演題を講演